

Tsuyama College		Year	2021		Course Title	Control Programming	
Course Information							
Course Code		0150		Course Category		Specialized / Elective	
Class Format		Lecture		Credits		Academic Credit: 2	
Department		Department of Integrated Science and Technology Electrical and Electronic Systems Program		Student Grade		5th	
Term		First Semester		Classes per Week		2	
Textbook and/or Teaching Materials		必要に応じて資料を配付する					
Instructor		SORI Hitoshi					
Course Objectives							
学習目的：デザイン分野等で広く用いられている言語であるProcessingの基礎を学び、キーボードやマウスといったユーザインターフェイスの入力に反応して動きが変わるアニメーションプログラムなどを作成しながら、プログラミングに関する基本的な考え方、技能を身に付ける。							
到達目標： 1. 変数、代入や演算子の概念を理解し、式を記述できる。 2. 制御構造の概念を理解し、条件分岐や反復処理を記述できる。 3. 関数の概念を理解し、関数を含むプログラムが記述できる。							
Rubric							
	優		良		可		不可
評価項目1	変数、代入や演算子の概念について適切に説明でき、応用できる。		変数、代入や演算子の概念について適切に説明できる。		変数、代入や演算子の概念について説明できる。		変数、代入や演算子の概念について説明できない。
評価項目2	制御構造の概念を理解し、適切に説明でき、応用できる。		制御構造の概念を理解し、適切に取り扱うことができる。		制御構造の概念を理解し、説明できる。		制御構造の概念を説明できない。
評価項目3	関数の概念を理解し、多様な関数を含むプログラムが記述できる。		関数の概念を理解し、標準的な関数を定義してプログラムが記述できる。		関数の概念を理解し、簡単な関数を定義してプログラムが記述できる。		関数の概念を理解できない。
Assigned Department Objectives							
Teaching Method							
Outline	一般・専門の別：専門 学習の分野：融合科目・その他						
	基礎となる学問分野：情報学/情報科学, 情報工学およびその関連分野/ソフトウェア関連						
	学習教育目標との関連：本科目は総合理工学科学習教育目標「③基盤となる専門性の深化」に相当する科目である。						
	技術者教育プログラムとの関連：本科目が主体とする学習・教育目標は「（A）技術に関する基礎知識の深化, A-1:工学に関する基礎知識として、自然科学の幅広い分野の知識を修得し、説明できること」である。						
Style	授業の概要：プログラミングについて、基本的な考え方および技能を修得するために、Processingを用いて、変数の利用、繰り返し、条件分岐などを用いて簡単なプログラム作成ができることを目指す。						
	授業の方法：プレゼンテーションによる講義とプログラミング演習を中心に授業を進める。理解を深めるため、講義の際にも必要に応じて演習課題を課す。						
Notice	成績評価方法：授業で指示した演習、レポートを均等に評価する（60%）が、原則、すべての演習とレポートが提出されていることを採点の条件とする。1回の定期試験で評価する（40%）。また、再試験は行わない。						
	履修上の注意：本科目を選択した者は、学年の課程修了のために履修（欠課時間数が所定授業時間数の3分の1以下）が必須である。また、本科目は「授業時間外の学修を必要とする科目」である。当該授業時間と授業時間外の学修を合わせて、1単位あたり45時間の学修が必要である。授業時間外の学修については、担当教員の指示に従うこと。						
	履修のアドバイス：事前に行う準備学習として、これまでに学んだプログラミング関連科目が基礎科目となるため、十分に復習をしておくこと。						
	基礎科目：総合理工基礎（1年）、情報リテラシー（1）、デジタル工学（3） 関連科目：情報処理基礎演習Ⅰ、Ⅱ（専1）など 受講上のアドバイス：復習をすること。レポートは欠かさず提出すること。他の科目で学習した知識と関連させて学習するよう心掛けること。遅刻は授業時間半分までとし、遅刻2回で欠課1回として取り扱う。						
Characteristics of Class / Division in Learning							
☐ Active Learning		☒ Aided by ICT		☐ Applicable to Remote Class		☐ Instructor Professionally Experienced	
履修選択							
Course Plan							
			Theme		Goals		
1st Semester	1st Quarter	1st	ガイダンス、Processingを使ったプログラミング演習1		Processingの基本的な書式がわかる。		
		2nd	Processingを使ったプログラミング演習2		基本的な変数、式がわかる。		
		3rd	Processingを使ったプログラミング演習3		if文による制御ができる。		
		4th	Processingを使ったプログラミング演習4		switch文による制御ができる。		
		5th	Processingを使ったプログラミング演習5		while文による反復制御ができる。		
		6th	Processingを使ったプログラミング演習6		for文による反復制御ができる。		
		7th	Processingを使ったプログラミング演習7		課題演習に取り組む。		

		8th	中間評価の確認, レポート指導, 追加演習	
	2nd Quarter	9th	Processingを使ったプログラミング演習 8	入力インターフェイスを利用したプログラミングができる。
		10th	Processingを使ったプログラミング演習 9	入力インターフェイスを利用したプログラミングができる。
		11th	Processingを使ったプログラミング演習 1 0	関数定義と関数宣言ができ, 関数を自作することができる。
		12th	Processingを使ったプログラミング演習 1 1	配列を使うことができる。
		13th	Processingを使ったプログラミング演習 1 2	課題演習に取り組む。
		14th	Processingを使ったプログラミング演習 1 3	課題演習に取り組む。
		15th	前期末試験	
		16th	前期末試験の返却と解答解説	

Evaluation Method and Weight (%)

	試験	課題・レポート	Total
Subtotal	40	60	100
基礎的能力	0	0	0
専門的能力	40	60	100
分野横断的能力	0	0	0